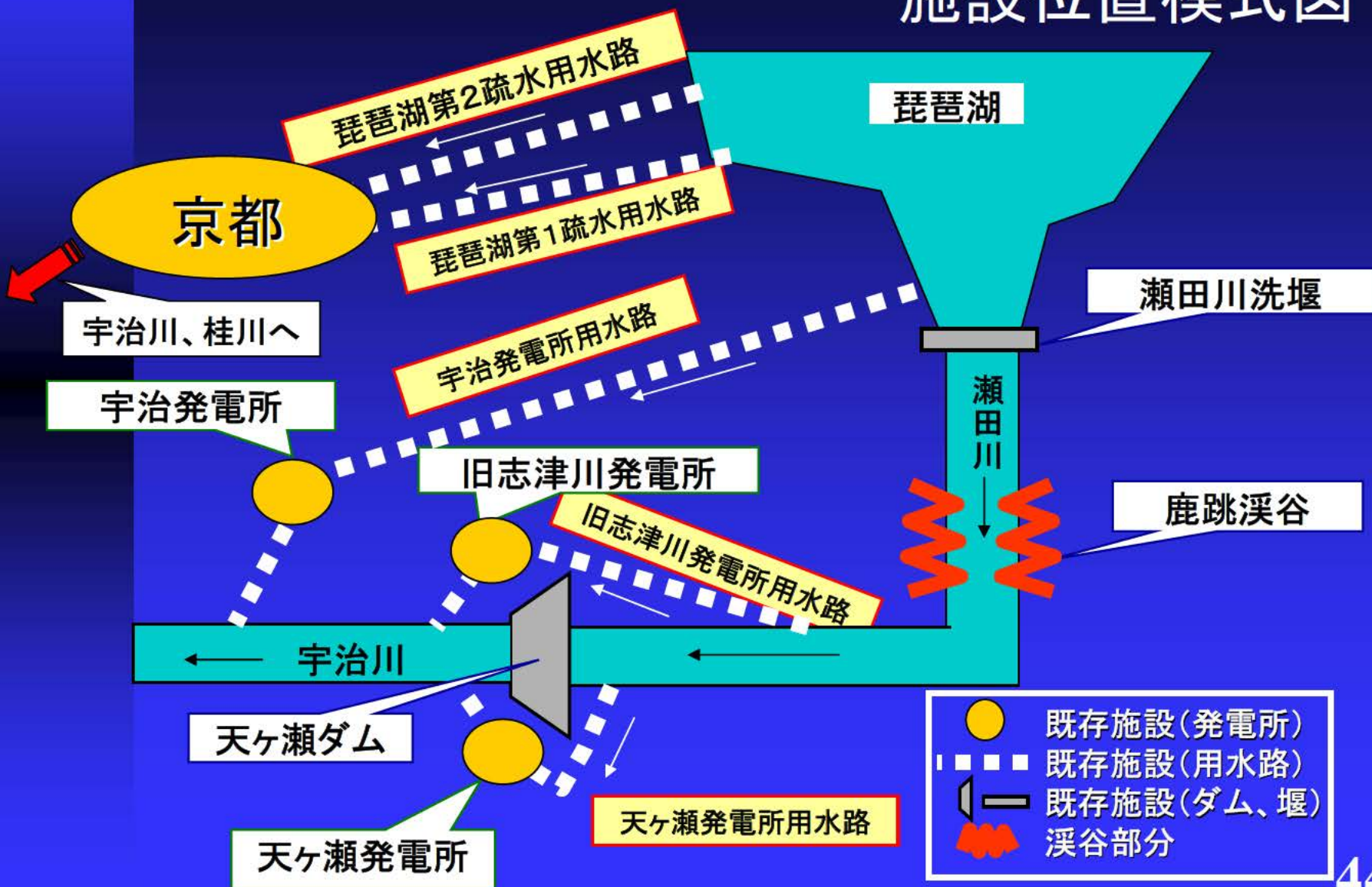
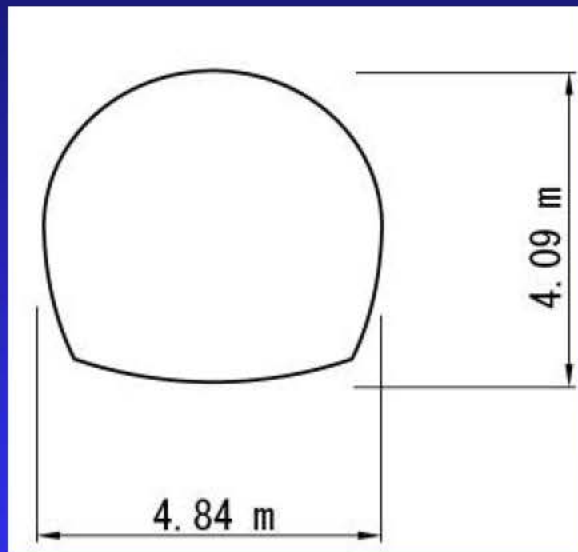


# 施設計画の見直し

## 施設位置模式図



# 既存施設(京都第1・第2疎水)

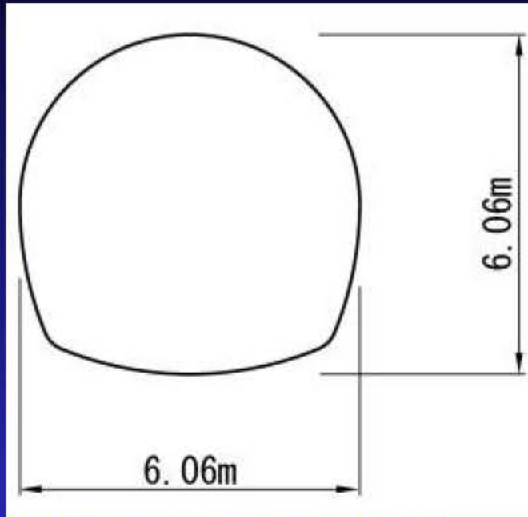


標準断面図(1条)

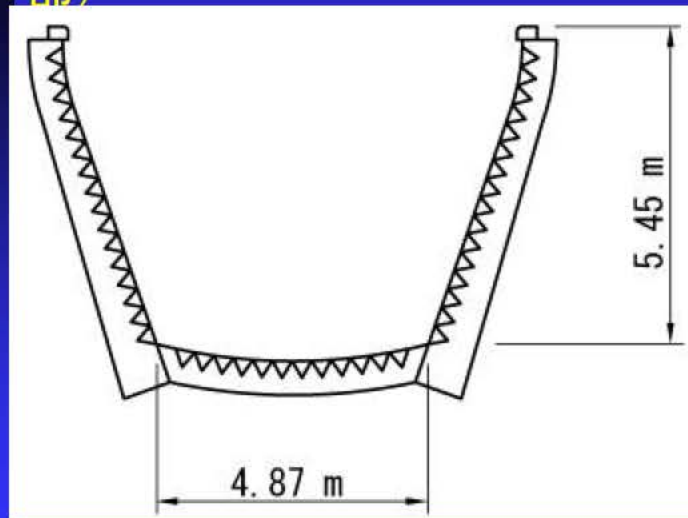


施設写真

# 既存施設(宇治発電所)



標準断面図(1条 管路部)



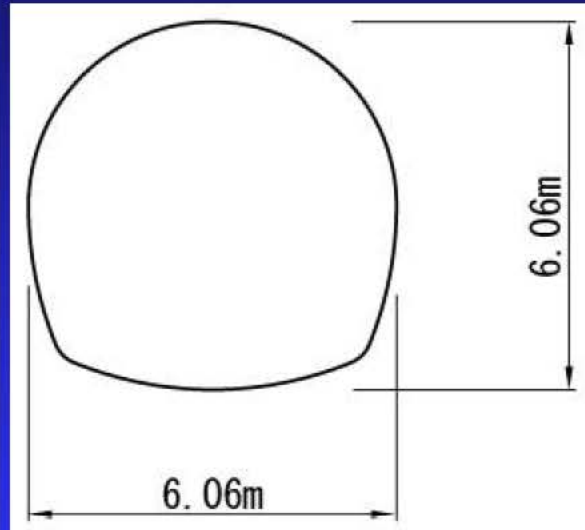
標準断面図(開水路部)



施設写真



# 既存施設(旧志津川発電所)



標準断面図(1条)

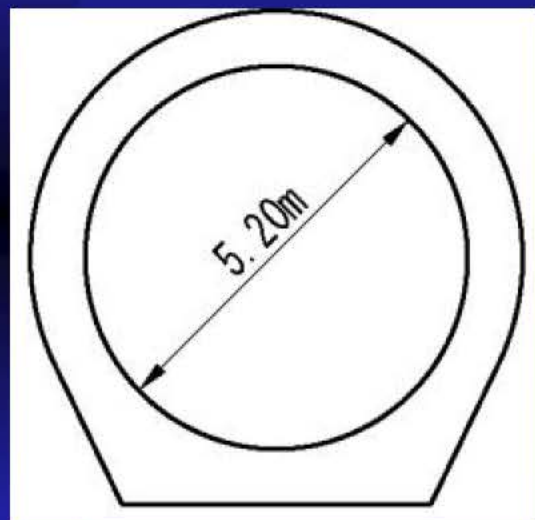


施設写真

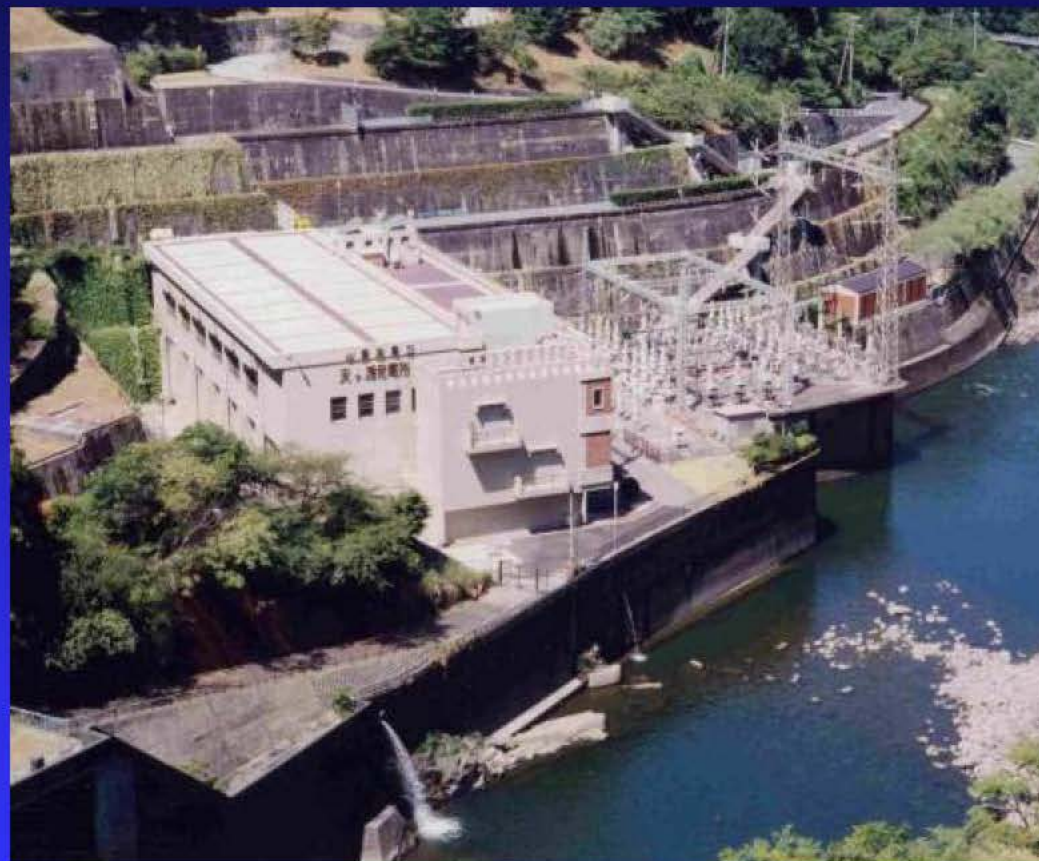
# 施設計画の見直し

対策【2. (6)】

## 既存施設(天ヶ瀬発電所)



標準断面図(2条)



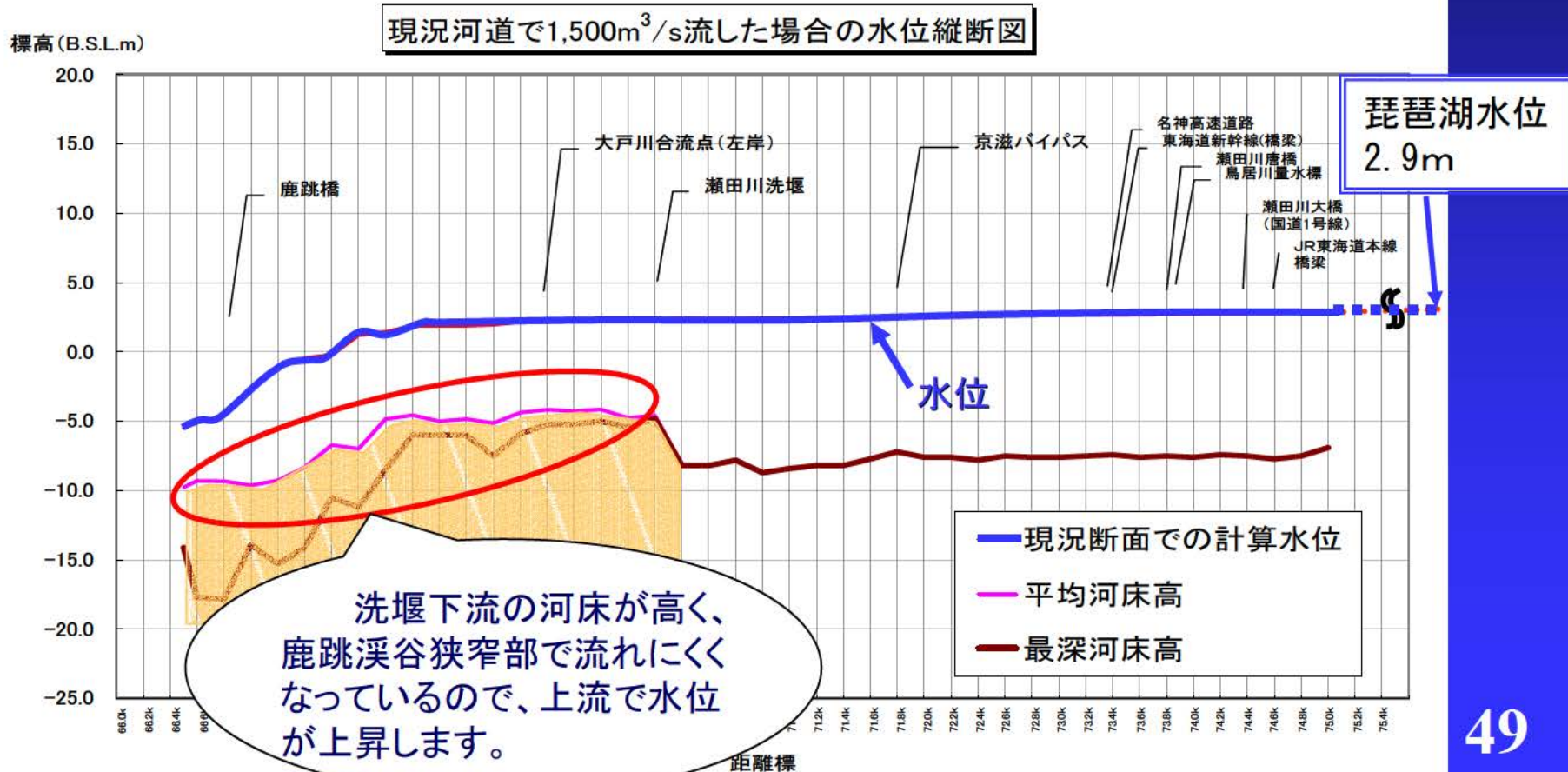
施設写真



# 瀬田川の流下能力の増加

宇治川の流下能力が $1,500\text{m}^3/\text{sec}$ 確保されたとしても、琵琶湖水位を2.9mまで高くしないと、瀬田川では $1,500\text{m}^3/\text{sec}$ が流れません(琵琶湖水位1.4mでは $1,100\text{m}^3/\text{sec}$ 程度しか流れません)

→瀬田川の流下能力UPが必要



# 琵琶湖水位が+2.9mになると・・・

大津パルコ前では約60cm浸水します。

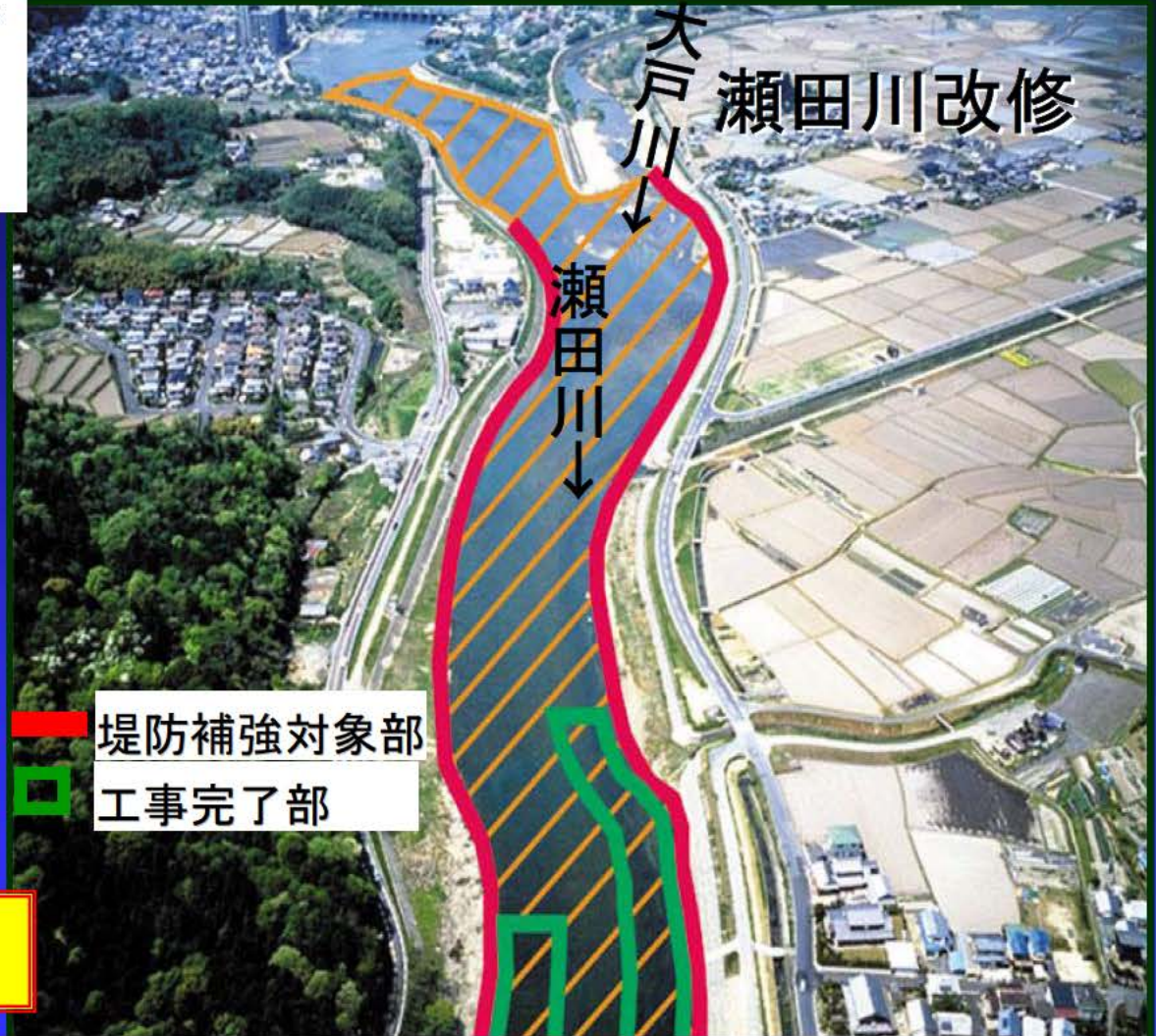
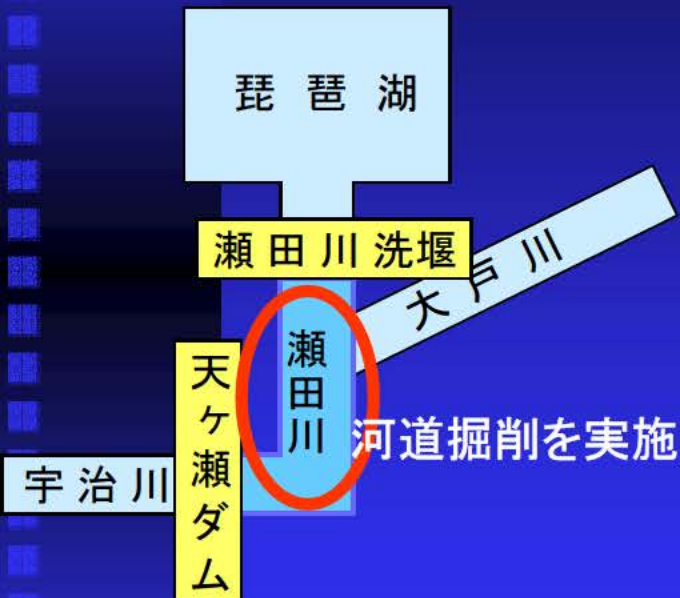


滋賀県大津市(大津パルコ前) 50



# 瀬田川の流下能力の増加対策

琵琶湖水位+1.4mで1,500m<sup>3</sup>/s  
を流し得る断面を確保  
(現状では1,100 m<sup>3</sup>/s程度しか  
流れない)



**概算事業費: 35億円**

洗堰から鹿跳溪谷までの河床掘削を継続実施



# 瀬田川の流下能力の増加対策



概算事業費：130億円

瀬田川下流(鹿跳溪谷地区)の流下能力の増大方法を環境、景観の観点も含め検討



# 宇治川の流下能力の増加対策

- 塔の島地区において天ヶ瀬ダム再開発見直しの検討結果及び下流の破堤対策の進捗を踏まえて河道掘削を実施します。



概算事業費：14億円



# 天ヶ瀬ダム再開発事業による 下流に対する効果





# 天ヶ瀬ダム再開発事業による 下流に対する効果

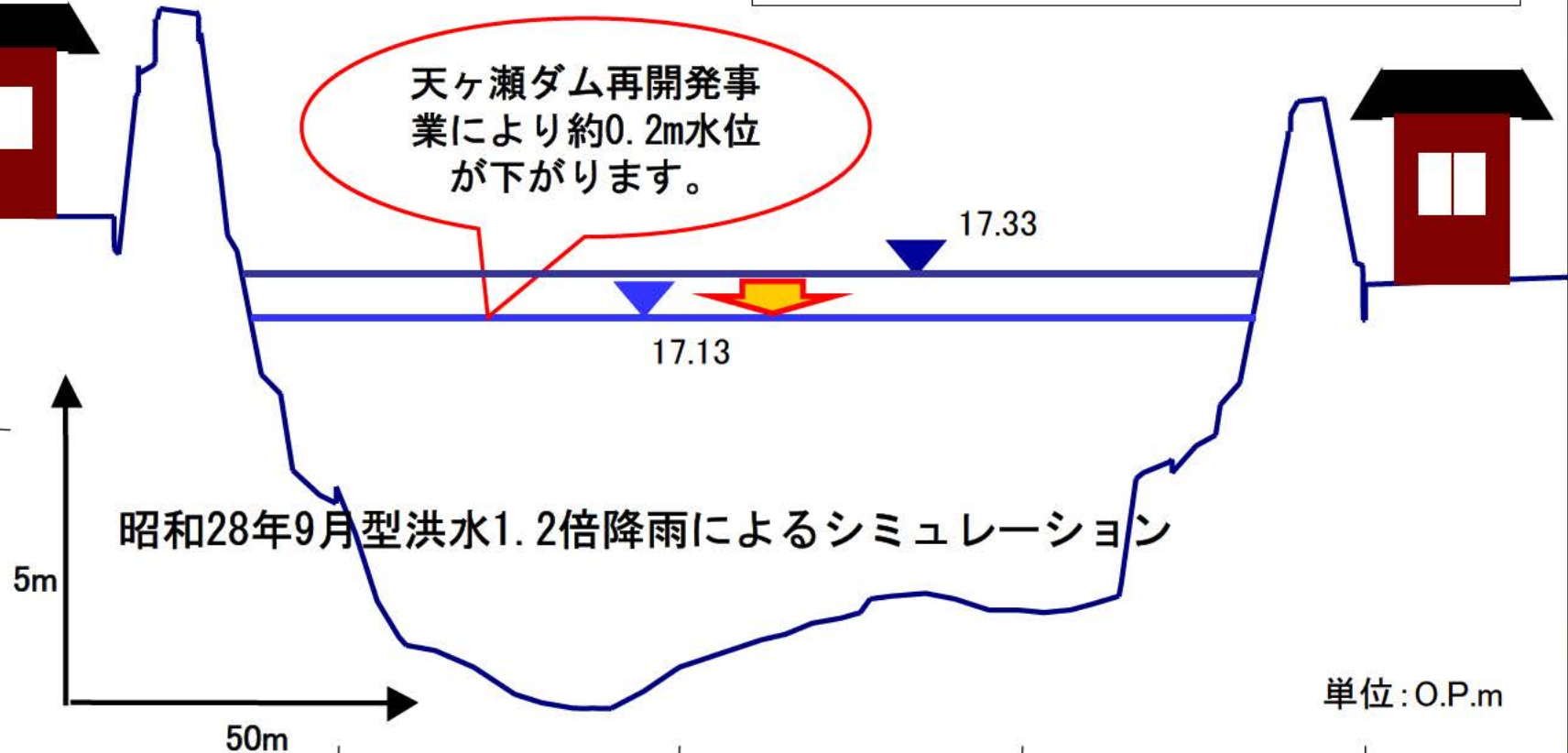
宇治市車田付近

宇治川49.8k地点

- ・平成10年断面
- ・5313型洪水1.2倍

- 天ヶ瀬ダム再開発のみの水位
- 天ヶ瀬ダム既設のみの水位

天ヶ瀬ダム再開発事業により約0.2m水位が下がります。



単位: O.P.m